

交通誘導警備中の死亡事故が目立つ 労働災害防止に全力で取り組もう

2月20日午後1時30分、荒川区のサンパール荒川で業務適正化推進大会を開催した。来賓に警視庁生活安全総務課の今野克宣管理官を迎え、「警備業の労働災害防止対策」や「日常や業務に活かす身体の使い方」をテーマにした研修が行われた。参加者は150人。



大会宣言をする佐々木委員長



5月頃の陽気となったこの日、今回初の会場となるサンパール荒川に参加者が集った。定刻の開会宣言に続き、出席者全員が起立して殉職した警備員と、能登半島地震で犠牲になった方々に黙祷を捧げた。

最初に「令和5年度労働災害防止に関する論文・ポスター・標語」の入選者に対する表彰式を行った。応募作品は論文14点、ポスター



次いで来賓の警視庁生活安全総務課の今野克宣管理官が登場。「昨年の刑法犯認知件数は約8万9000件で、前年と比べて約1万件の増加と

14点、標語859点。その中から全警協への推薦作品となる上位各3人（標語のみ12人）に、村井豪会長から表彰状と記念品が贈られた（入選者は別表参照。ポスター・標語の詳細は、本誌2023年12月号に掲載済み）。

表彰式に続き村井会長が挨拶を述べた。「都内における警備業の労働災害は、残念ながら増加傾向にある。昨年の東京労働局の統計でも、休業4日以上の労働災害が349件発生し、前年に比べて12件増加（速報値）した。労働災害の事例を検証すると、同じパターンの事故が繰り返されている状況で、警備員に対する平素の指導・教育が徹底されていれば防ぐことができたと考えられる。皆様には、社会の安全・安心を担う警備会社として、労働災害の発生をゼロに近づける努力が強く求められることを常に意識し、労働災害の絶無を期して努力されることを期待する」。

大会宣言

我々、東京都警備業協会は、首都東京において、日々多様化する警備業が国民のニーズに的確に応えられるように日夜、努力を続けています。

その中において、業務適正化を重要施策として、安全衛生意識の高揚と労働災害防止対策を積極的に推進して参りました。

しかし、2023年中の東京都内における警備業務中の死傷災害は、349件と多く発生し、中でも転倒災害は、150件と憂慮すべき状況にあります。

東京都警備業協会の会員は、「労働災害は安全産業の根幹にかかわる重要な問題である」という認識のもと、その絶無を期さなければなりません。

それには、経営者をはじめとする幹部の皆様が先頭に立って、業務に潜む「事故の兆し」を早期に発見し是正するため、現場主義に徹した体制づくりに努めていかなければなりません。

本日の業務適正化推進大会を契機に、労働災害による犠牲者を「一人も出さない」という強い決意の下、その撲滅に真摯に取り組んでいくことを、ここにお誓いし宣言いたします。

令和6年2月20日

第27回業務適正化推進大会
一般社団法人 東京都警備業協会
業務適正化委員会 委員長
佐々木 誠



労災防止作品の表彰

なった。平成14年の30万件をピークに19年連続で減少していたが、昨年に引き続き増加となった。

特殊詐欺防止対策は、全庁を挙げての取り組みを継続中で、警備業の皆さんにも協力をいただいている。昨年は12件、平成

30年特殊詐欺被害防止に関する協定の締結後、これまで166件もの未然防止に協力いただいた。これからは健康管理と良い職場環境の構築、更なる適正な警備業務の推進をお願いする」と述べた。

研修会終了後、佐々木誠委員長が声高らかに大会宣言（別項に全文掲載）を行い、労働災害防止への誓いを新たにされた。また、会場防止対策用品をはじめとした警備用品の展示を行った。

1位論文の概要

交通誘導警備における労災事故防止に向けて

加藤暢之氏（株式会社SGS）

10年前、夜間の路上工事で交通誘導警備中に、居眠り運転の車に突っ込まれて、同僚が亡くなった。その事故の原因を調査した結果、労災事故に新しいタイプはないことが分かった。交通誘導警備の労災事故における発生状況を拾い上げると、その原因に共通点が見えてくる。その中で、被災者側の注意によって防げた可能性があるものとして、①自分は大丈夫（自己中心的な過信）②未経験な事態に対する想像力（危険予知・KY）③被災しない仕組み（工夫）があげられる。

事故の再発防止に向けて社長自らが旗振り役となって、上記3点についての対策を打ち出した。現任教育で仲間の事故をすべて語り継いできた。経験の浅い警備員には、事故の原因から結果まで想像させながら教える。逆に経験が長くなる危険に対する感覚が鈍化する傾向が見られることから、「普通

の感覚での危ない」を指摘していった。これらの対策を徹底。経営トップから現場警備員に至るまで、労災撲滅に向けて一丸となった取り組みを続けていく。

労災防止作品上位入選者（敬称略）

論文の部		
1位	(株)SGS	加藤 暢之
2位	NECファシリティーズ(株)	本多 健一
3位	セントラル警備保障(株)	安藤崇一郎
ポスターの部		
1位	凸版警備保障(株)	川口 友未
2位	ダイビル・ファシリティ・マネジメント(株)	吉岡 誠吾
3位	NECファシリティーズ(株)	中山 亨
標語の部		
1位	セントラル警備保障(株)	佐藤 直孝
2位	セコム(株)	谷口 武典
3位	凸版警備保障(株)	大多和 博